

《別 紙》

1. 開催年月日 令和7年3月17日(月)開催
2. 開催場所 エフエム西東京 1階 会議室 (東京都西東京市芝久保町5-8-2)
3. 出席委員
委員総数 7名
出席委員 5名 下川隆委員長 松川紀代実委員 小松真弓委員
賀陽智之委員 村田志保委員
欠席委員 2名 山本恒安委員 野澤秀夫委員

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 青木崇(制作室ディレクター)
高橋絵里(制作室)

4. 議 題

審議番組 : 西東京市長選挙・市議会議員補欠選挙開票速報

2/2(日) 21:20~23:31 エフエム西東京では、開票所と中継を繋ぎ30分ごとに選挙管理委員会が発表するアナウンスをリアルタイムに放送致しました。

当日に行われた市長選と市議補選の開票状況を速報する番組を審議。

開票所からの得票数発表アナウンスと、得票数発表の間の時間にはスタジオにゲストを迎え、西東京市の今や未来について井戸端会議。

街の賑わいや防災、地域コミュニティ、デジタル化、子育て、交通事情などについて

2人の市民ゲストを迎えてこの街を考えるトークを行いました。

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・司会の方の進行は落ち着いて聞きやすくわかりやすかった。
全体的にスムーズでリアルだったので速報番組として役目を果たしていたと思う。
- ・ゲストトークの際に人によって聞き取りにくかったので音声レベルは一定にしてほしい。
- ・極端に声の大きさが小さい方がいたのと、背景で流れている音楽が小さく気になった。
- ・速報以外の話が街の話や地域の話、まちづくりの話であったりしたので政治の話を
討論してもいいのではないかなと思った。
- ・司会の方のトークが柔らかくゲストの方々がリラックスして話している雰囲気が伝わった。
実際生放送で聞いていた際に開票速報が突然出ても落ち着いて話されていたのが伝わった。
- ・中継で市長のマイクの位置関係なのか話し声がこもって聞こえることがあったのは
残念だった。
- ・最後のエンディングは踏み込んだ内容まで聞けたので選挙番組の総括としては良かった。
- ・今回radiko(ラジコ)を使い参加型のラジオでやり取りがあり、コミュニティFM放送局
だからこそでできる番組内容だと思った。
- ・開票速報が記憶で終わるのではなく、コミュニティ放送局としての記録となるようにと
思っています。
- ・リアルタイムの選挙開票速報が若い方々の選挙投票率に繋がればいいと思った。
- ・政権の話もあり、改めて知ったこともある。
市議候補の情報も知らないことがたくさんあり、興味深く聞かせてもらった。
- ・選挙速報については、開票会場からの得票の状況の報道には臨場感があり分かりやすかった。
ゲストを迎えての西東京市についてのトークが、池澤市長や議員の皆さんの貢献により
発展している西東京市の姿を伝えており、選挙速報にふさわしい放送内容だったと思う。
- ・ゲストの方とのトークの中での西東京についてのコメントでは、都心へのアクセスの良さゆえ
のベッドタウンとしての発展、マンションや戸建ての住民を越えての交流、
農家の生産者にも近い安心感、北口だけでなく南口についての話題、
外国人のインバウンドへの展開の可能性など、新鮮で多様な話題が出て興味深く面白く
聞くことができた。

局の回答

実際に選挙管理委員会の機材にケーブルを差し、その音源をスタジオを介して放送することにより、リアルタイムでどこよりも早い開票速報をお届けできました。開票所に行き音響担当をした際、周りに方々からエフエム西東京の関係者だと普段番組で関わらない方からも認知していただきご協力がありました。この開票速報が出来たのは西東京市の選挙管理委員会との関係性を昔から大切に、地域で長くラジオを続けてきた結果だと考えています。池澤市長との関りもあり、当日は間違いなくどのメディアより一番早い開票速報をお伝え出来たという事は放送局として根幹にある所かなと思っております。審議委員のご意見にもあった、政治の話ですが今回は街の話・街づくりの話の延長線上に政治の話が出てくるのかと思い、今回フランクにですが大事な視点での話が出来たかと思えます。ただ声のボリュームについて、長い時間放送を当日している中でフォロー出来ていなかった点は反省すべきところです。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
なし
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載
9. その他の参考事項
なし